

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

皮膚そう痒症診療ガイドライン 2020

日本皮膚科学会難治性慢性痒疹・皮膚瘙癢症診療ガイドライン作成委員会

日本皮膚科学会雑誌 第 130 巻 第 7 号、2020 年 6 月 20 日発行

<https://www.dermatol.or.jp/uploads/uploads/files/guideline/souyouGL2020.pdf>

Strength of Evidence

- I: システマティック・レビュー/メタアナリシス
- II: 1 つ以上のランダム化比較試験による
- III: 非ランダム化比較試験による
- IV: 分析疫学的研究 (コホート研究や症例対照研究による)
- V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)
- VI: 専門委員会や専門家個人の意見

Strength of Recommendation

- A: 行うよう強く勧められる (少なくとも 1 つの有効性を示すレベル I もしくは良質のレベル II のエビデンスがあること)
- B: 行うよう勧められる (少なくとも 1 つ以上の有効性を示す質の劣るレベル II か良質のレベル III あるいは非常に良質の IV のエビデンスがある)
- C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)
- C2: 根拠がないので勧められない (有効のエビデンスがない、あるいは無効であるエビデンスがある)
- D: 行わないよう勧められる (無効あるいは有害であることを示す良質のエビデンスがある)

■1 漢方薬

疾患:

皮膚そう痒症

CPG 中の Strength of Evidence:

II: 1 つ以上のランダム化比較試験による

CPG 中の Strength of Recommendation:

(漢方薬全体として)

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

五大学共同研究班. 老人性皮膚そう痒症に対する TJ-15, TJ-107 の使用経験. *西日本皮膚科* 1991; 53: 1234-41.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ13: 漢方薬は皮膚そう痒に有効か?』に対して、下記の記載がある。

『推奨度: C1

推奨文: 本症が治療抵抗性であることを考えれば使用を考慮してもよいと思われる。

解説: 老人性皮膚そう痒症については以下に示すランダム化比較試験が報告されている (エビデンスレベル II)。』

■2 黄連解毒湯、3 牛車腎気丸

疾患:

老人性皮膚そう痒症

CPG 中の Strength of Evidence:

II: 1 つ以上のランダム化比較試験による

CPG 中の Strength of Recommendation:

(漢方薬全体として)

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

五大学共同研究班. 老人性皮膚そう痒症に対する TJ-15, TJ-107 の使用経験. *西日本皮膚科* 1991; 53: 1234-41.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ13: 漢方薬は皮膚そう痒に有効か?』に対して、下記の記載がある。

『黄連解毒湯 (中~実証を対象)、牛車腎気丸 (中~虚証を対象) を用いたランダム化比較試験において、両者ともフマル酸クレマスチン (タベジール) と同等の効果がみられている。』

■4 当帰飲子、5 甘草エキス配合入浴剤

疾患:

老人性皮膚そう痒症

CPG 中の Strength of Evidence:

II: 1 つ以上のランダム化比較試験による

CPG 中の Strength of Recommendation:

(漢方薬全体として)

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

飯田利博, 西山千秋, 鈴木啓之. 老人性皮膚そう痒症に対する当帰飲子の内服と甘草抽出エキス配合入浴剤の併用効果. *日本東洋医学雑誌* 1996; 47: 35-41. [CiNii](#)

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ13: 漢方薬は皮膚そう痒に有効か?』に対して、下記の記載がある。

『当帰飲子と甘草エキス配合入浴剤の併用効果を検討し、当帰飲子単独と甘草エキス配合入浴剤単独、両者併用いずれにおいても角層水分量の改善をみている。しかし乾燥が改善した症例においてそう痒が軽減したのは半数以下であった。』

■6 八味地黄丸

疾患:

老人性皮膚そう痒症

CPG 中の Strength of Evidence:

II: 1 つ以上のランダム化比較試験による

CPG 中の Strength of Recommendation:

(漢方薬全体として)

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

石岡忠夫, 青井礼子. 老人性皮膚そう痒症に対する八味地黄丸とフマル酸ケトチフェンの薬効比較. *新薬と臨床* 1992; 41: 2603-8. [MOL](#), [MOL-Lib](#)

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ13: 漢方薬は皮膚そう痒に有効か?』に対して、下記の記載がある。

『八味地黄丸とフマル酸ケトチフェン（ザジテン）を用いたクロスオーバー法によるランダム化比較試験で両者とも有意差なく78%の有効性が確認されている。』

■7 八味地黄丸、8 六味丸

疾患:

老人性皮膚そう痒症

CPG 中の Strength of Evidence:

II: 1 つ以上のランダム化比較試験による

CPG 中の Strength of Recommendation:

(漢方薬全体として)

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

石岡忠夫. 老人性皮膚そう痒症に対する六味丸と八味地黄丸の薬効比較. *Therapeutic Research* 1995; 16: 1497-504. [MOL](#), [MOL-Lib](#)

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ13: 漢方薬は皮膚そう痒に有効か?』に対して、下記の記載がある。

『八味地黄丸と六味丸との比較試験においても両者に同等の有効性が示されている。』

■9 当帰飲子、10 黄連解毒湯

疾患:

皮膚そう痒症

CPG 中の Strength of Evidence:

II: 1 つ以上のランダム化比較試験による

CPG 中の Strength of Recommendation:

(漢方薬全体として)

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

大熊守也. 皮膚そう痒症の漢方薬による治療. *和漢医薬学会誌* 1993; 10: 126-30.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ13: 漢方薬は皮膚そう痒に有効か?』に対して、下記の記載がある。

『皮膚そう痒症患者に対して当帰飲子と黄連解毒湯の併用で抗ヒスタミン薬と同等の効果を
示しているが、患者の年齢分布や基礎疾患などの詳細な情報は記載されていない。』

■11 黄連解毒湯

疾患:

皮膚そう痒症

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

(漢方薬全体として)

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V,
あるいは委員会が認める VI)

引用など:

- 1) 赤松浩彦, 石井洋光, 石井澄, ほか. 血液透析患者の痒みに対する黄連解毒湯の効果. *漢方と最新治療* 2004; 13: 75-9.
- 2) 川嶋朗, 班目健夫, 小川哲也, ほか. 維持透析患者の合併症に対する漢方薬の応用. *日本透析医会雑誌* 2008; 23: 195-200.
- 3) 大和田章, 椎貝達夫. 保存期腎不全患者のそう痒症に対する黄連解毒湯の効果. *腎と透析* 1998; 44: 283-6.
- 4) 河合弘進, 高木智恵子, 塚田義人, ほか. 透析そう痒症に対する黄連解毒湯の効果の検討. *臨床透析* 1995; 11: 389-96.

■12 温清飲

疾患:

皮膚そう痒症

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

(漢方薬全体として)

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V,
あるいは委員会が認める VI)

引用など:

- 1) 川嶋朗, 班目健夫, 小川哲也, ほか. 維持透析患者の合併症に対する漢方薬の応用. *日本透析医会雑誌* 2008; 23: 195-200.

- 2) 北裕次, 楠見博明, 畑中淳治. 透析患者の皮膚そう痒症に対する漢方製剤の効果. *新薬と臨床* 1984; 33: 283-8. [MOL](#), [MOL-Lib](#)
- 3) 阿部富弥, 北裕次, 楠見博明. 透析患者の皮膚そう痒症に対する漢方製剤の応用. *医学と薬学* 1983; 9: 1777-81. [MOL](#), [MOL-Lib](#)

■13 当帰飲子

疾患:

皮膚そう痒症

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

(漢方薬全体として)

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

- 1) 川嶋朗, 班目健夫, 小川哲也, ほか. 維持透析患者の合併症に対する漢方薬の応用. *日本透析医会雑誌* 2008; 23: 195-200.
- 2) 北裕次, 楠見博明, 畑中淳治. 透析患者の皮膚そう痒症に対する漢方製剤の効果. *新薬と臨床* 1984; 33: 283-8. [MOL](#), [MOL-Lib](#)
- 3) 阿部富弥, 北裕次, 楠見博明. 透析患者の皮膚そう痒症に対する漢方製剤の応用. *医学と薬学* 1983; 9: 1777-81. [MOL](#), [MOL-Lib](#)
- 4) 岩本一郎, 堀内ひろみ, 今田聡雄, ほか. 腎疾患と漢方治療 QOL・透析患者の皮膚そう痒症と当帰飲子. *現代医療学* 1994; 9: 63-8.

<以上 11~13 の記載として>

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ13: 漢方薬は皮膚そう痒に有効か?』に対して、下記の記載がある。

『腎不全や透析患者の皮膚そう痒症における漢方薬内服療法については記述研究がほとんどである。症例集積研究としてその効果が報告されているものは、黄連解毒湯、温清飲、当帰飲子などである。』

<以上 1~13 の記載として>

備考:

『7. 皮膚癢痒症治療アルゴリズム』に『漢方薬 C1』の記載がある。

『皮膚そう痒症に用いられる主な漢方薬』の表中に、『温清飲、黄連解毒湯、牛車腎気丸、当帰飲子、八味地黄丸、六味丸 (温清飲と八味地黄丸は皮膚そう痒症の保険適用は無い)』との記載がある。